

事務事業名	市長公用車運転事業	事務事業No.	60301000872	所属課	秘書広報課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
市町村合併後も、市長及び副市長の出張を伴う公務の円滑・効率化を目的に、公用車及び市長専任運転手1人（一般職非常勤職員）と副市長兼任運転手1人（職員）を配置し、公用車の運転及び維持・管理業務を行っている。平成19年4月からは、市長専任運転手の任用形態を嘱託職員へ、平成26年8月から平成28年8月までは、一般職非常勤職員へと戻したが、平成28年9月より嘱託職員へ替えている。さらに令和2年4月からは会計年度任用職員へと任用替えを行った。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成18年度の同業務に対して、市民の方が市長を相手に、公用車の使用に一部不正があったとしてガソリン代などの返還を求めた「市長公用車使用損害賠償裁判」の控訴審裁判が9月16日、東京高等裁判所でありました。判決内容は、市長に対して市長の結婚式への出席依頼の際のガソリン代など、1万2,949円を市に返還するよう言い渡され、同月30日に判決が確定しました。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市長および副市長の出張を伴う公務を効率的かつ円滑に執行することは、効率的な自治体運営に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市長および副市長としての出張を伴う業務（公用）のため、市でこの業務を行うのは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 市長・副市長への出席依頼などを精査し、効率的にスケジュール管理をしているため成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市長・副市長の出張を伴う公務を効率的かつ円滑に執行できなくなり、効率的な自治体運営に影響が出る。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市長および副市長として出張を伴う業務（公用）のため統廃合の余地はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 会計年度任用職員については、規定に基づいた報酬のため削減余地がない。また、旅費・有料道路使用料・駐車場使用料についても、市長および副市長への出席依頼などを精査し、スケジュールを調整しているため削減余地がない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民の方および公的機関を対象としているため公正・公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	市長の公務スケジュールに基づき公用車運転業務を実施し、運転日誌も作成するなど適切に事業を実施できている。また、会議資料等の携行業務なども実施した。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	成果	低下		×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
成果	低下		×	×																					
			(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>